



もりんのあしあと

岡山県健康の森学園支援学校
令和8年 5月 18日発行

今月から、校長だよりのタイトルを『もりんのあしあと』にリニューアルします。本校は、施設と学校が手を取り合っ
とも歩む、「オンリーワン」の学び舎です。子供たち、利用者
の方々、そして教職員や施設職員。それぞれの歩幅は違いますが、
学園キャラクターの『もりん』と一緒に、一步一步、一生懸命に刻ん
できた日々の歩みを、温かくお伝えしていきたいという想いを込めています。
ゆっくりでも、止まってでも、また歩き出す。そんな子供たちの尊い『あしあと』を、
大切に拾い上げていきたいと思えます。



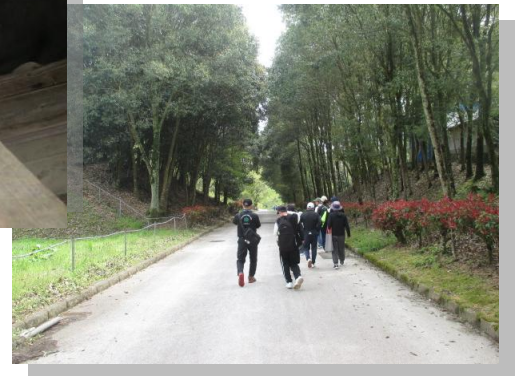
歩幅を合わせる、心が重なる

～オリエンテーリングを通して見えた絆～



前日までの雨もあがり、4月24日（金）に、今年も恒例のふれあいオリエンテーリングが開催されました。学園の園生・職員が12のグループに分かれて、学園内の4つのコースをそれぞれのペースで進みました。清々しい風が吹く中、コースのあちこちで、素敵な光景が見られました。自分たちのペースで進んでいた高等部の生徒が、自然と歩幅を緩め、小学部の児童を先導する姿。疲れた様子の児童生徒に優しく言葉をかける姿など。

毎年行われている恒例の行事ですが、そこには毎年新しい発見があります。相手を思いやり、歩幅を合わせる。そんなシンプルな、けれどとても大切なことが当たり前に行われた1日でした。



心の架け橋～広がる世界、深まる絆～



今年も、小・中・高とそれぞれの学部で、交流および共同学習を予定しております。それぞれの子供たちがどんな表情を見せてくれるのか、今からとても楽しみです。

この交流および共同学習を通じて、子供たちの世界が広がり、絆が深まっていくことを願っています。学習の様子はこの「もりんのあしあと」で随時お伝えします。